

残そう・伝えよう! 身近な生きものの調査



福井県里山里海湖研究所

「残そう・伝えよう!」身近な生きもの調査事業

身近な生きもの調査を実施している小学校を支援します!

福井県里山里海湖研究所では、県内でさまざまな生きもの調査等を実施している小学校を対象に、その調査活動を継続し、さらに充実させていただく仕組みとして、次のような支援体制を構築いたしました。

《支援内容》

(1) 学校と協力して、調査・保全活動を行う学校専任アドバイザーの派遣(人的支援)

調査・保全活動の計画・実施の中心となる専門家等を学校専任アドバイザーとして学校に派遣し、その費用を県が負担します。

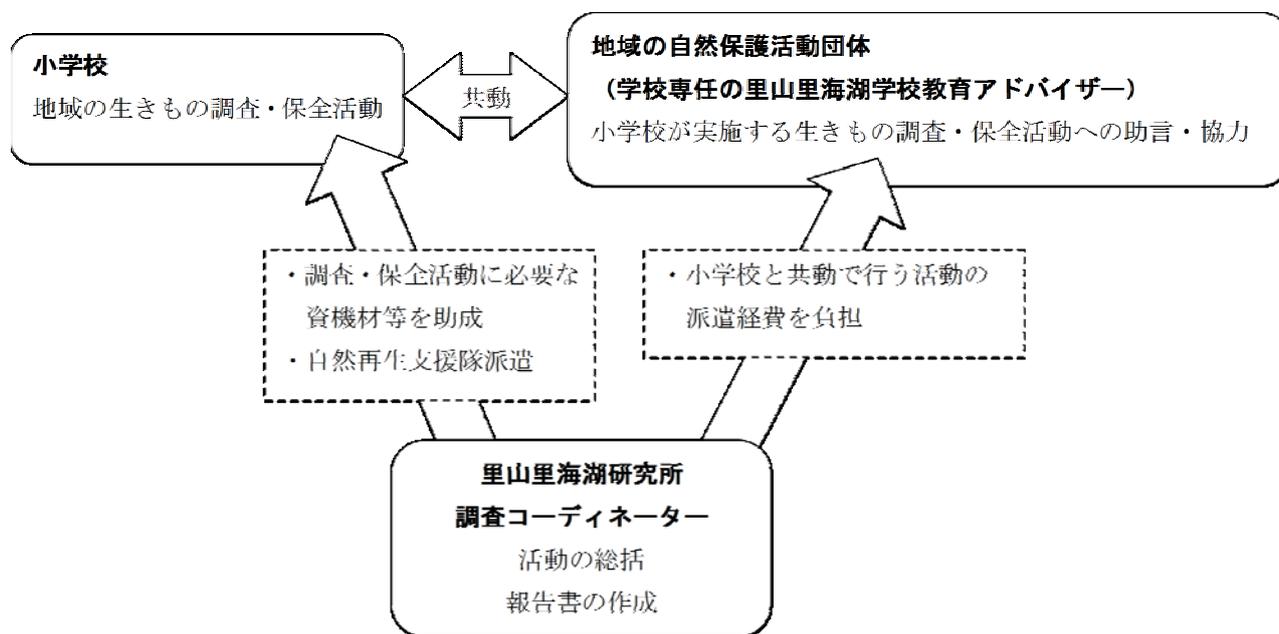
(2) 身近な生きもの調査・保全活動に対する学校側への経費の支援(物的支援)

調査・保全活動にかかる経費を最大10万円支援します。

(3) 調査・保全活動全体を総括する調査コーディネーターの派遣(総括的支援)

調査活動全体を円滑に推進するため、調査コーディネーターを派遣し、活動の総括および必要書類等の作成にあたります。

《事業イメージ図》



《担当部署》

福井県里山里海湖研究所

TEL : 0770-45-3580 FAX : 0770-45-3680 E-Mail : satoyama@pref.fukui.lg.jp

残そう・伝えよう!

身近な生きもの調査

～ 福井県内14校の取組紹介 ～

No	ブロック	市町名	学校名	対象学年
1	福井・吉田	福井市	社西小学校	全学年
2		永平寺町	吉野小学校	4年
3	坂井	あわら市	北潟小学校	全学年
4		坂井市	雄島小学校	5年
5	奥越	勝山市	村岡小学校	5年
6		大野市	有終南小学校	3年
7	鯖丹	鯖江市	河和田小学校	3、4、5、6年
8		越前町	宮崎小学校	全学年
9	南越	越前市	白山小学校	全学年
10			坂口小学校	全学年
11	二州	敦賀市	咸新小学校	全学年
12		美浜町	美浜中央小学校	3、4年
13	若狭	小浜市	国富小学校	5年
14		おおい町	本郷小学校	5年

平成28年3月

社西小学校

福井市下江守町22-18
児童数：317人(平成27年)

ホタルがすむ“びおBIOランド”で 自然に親しもう

◇ フィールドと目標生物

校内のビオトープ(びおBIOランド)に生息するホタル、メダカなどの水生生物

◇ 取組概要

校内のビオトープ(びおBIOランド)において、各学年ごとに、生きもの観察や田んぼ作業を体験。ビオトープを地域の生きもの育む拠点として維持している。

◇ 取組内容

びおBIOランドへのホタルの幼虫放流や、地元「ほたる西社の会」の方によるホタルの生態についての勉強会を実施している。びおBIOランドが、ホタルが生息し続けられる場所となるように、社中学校の生徒や地域の方、PTAと連携し、びおBIOランドのハスの除去、泥上げ、アメリカザリガニの駆除を実施している。



アメリカザリガニ駆除



ホタルについての勉強会

吉野小学校

永平寺町松岡吉野26-3
児童数：79人(平成27年)

ホタルが生息する荒川の水質や 生態について学習しよう

◇ フィールドと目標生物

学校の後ろを流れる荒川に生息するホタルなどの水生生物

◇ 取組概要

毎年、4年生が総合的な学習の時間に学校の裏を流れる荒川において水生生物を調査・観察している。

◇ 取組内容

荒川と島川の合流地点付近での水生生物調査を継続的に実施し、ドンコ・カフムツ・サワガニ・イシガメなどの生息状況を記録している。また、荒川には多数のホタルが生息しており、ホタルの生息できる場所・荒川を地域の宝として保全する活動(看板づくり)に地域の方と一緒に取り組んでいる。



荒川での水生生物調査



ホタルの保全活動(啓発看板づくり)

北潟小学校

あわら市北潟35-11
児童数：44人(平成27年)

北潟の自然と環境を守る

◇ フィールドと目標生物

北潟湖のフナや、北潟国有林の在来植物などの北潟に生息生育する動植物

◇ 取組概要

各学年ごとに、地域の各種団体と連携し、北潟の自然に親しみながら地域を誇りに思う気持ちを育む活動を展開している。

◇ 取組内容

1、2年生が、北潟漁業協同組合による北潟湖へのフナの稚魚放流に参加し、フナの生態などについて学習しながら、北潟湖の関心を深めている。また、4、5年生が、「あわらの自然を愛する会」と連携し、国有林でのオミナエシ植栽、在来の植物を用いた森づくりを通し、地域の動植物の生態についての理解を深めている。



オミナエシの植栽



在来種の植栽

雄島小学校

三国町陣ヶ岡 16-3
児童数：251人(平成27年)

雄島の宝 えろものふけを守る

◇ フィールドと目標生物

えろものふけに生息するオオコオイムシ、アカヨシヤマ、ヒメゲンゴロウなどの水生生物

◇ 取組概要

5年生が総合的な学習の時間に、池(えろものふけとすいれん池)の水生生物調査と外来種駆除活動を継続的に実施している。

◇ 取組内容

陣ヶ岡丘陵地の保全・再生を進める「えろものふけを守る会」と連携しながら、えろものふけとすいれん池において水生生物の生息状況調査を実施している。人の手が入っている池と、そうでない池との比較調査により、水生生物の保全について考える機会としている。また、アメリカザリガニ駆除による保全活動も実施している。



水生生物調査



調査結果の記録

村岡小学校

勝山市郡町2-9-1
児童数：215人(平成27年)

ミチノクフクジュソウを育む

◇ フィールドと目標生物

ミチノクフクジュソウ保全区域に生育するミチノクフクジュソウ

◇ 取組概要

5、6年生時にミチノクフクジュソウ保全区域(勝山市北谷町小原地区)において、ミチノクフクジュソウの開花観察と生育地の整備作業を実施している。

◇ 取組内容

小原ECOプロジェクトや福井県自然観察指導員の会、行政関係者の指導を受けながら、ミチノクフクジュソウの保全作業を実施している。毎年、秋には、生育地整備としての下草刈りと刈草収集作業を実施し、春には、ミチノクフクジュソウの開花記録(1㎡区画の開花数やつぼみの数、花の中と外の温度など)を取り保全作業の成果を確認している。さらに夏には、種まきと保全を呼びかける看板作りをし、保全活動を繋げている。



ミチノクフクジュソウの開花調査



保全作業(下草刈り)

有終南小学校

大野市春日2-8-30
児童数：392人(平成27年)

自分たちでイトヨを守ろう イトヨ見守り隊

◇ フィールドと目標生物

本願清水イトヨの里に生息するイトヨ

◇ 取組概要

3年生が、総合的な学習の時間に、本願清水イトヨの里にて、イトヨの生息地保全作業などを実施している。

◇ 取組内容

国の天然記念物「本願清水イトヨ生息地」において、本願清水イトヨの里スタッフの指導のもと、県域絶滅危惧I類に分類されるイトヨの生息地保全活動を実施している。自分たちでイトヨを守ろうと「イトヨ見守り隊」を結成し、アメリカザリガニの駆除や繁殖の妨げになる落葉の除去活動を展開しつつ、イトヨ保護の啓発ポスターによる情報発信をおこなっている。



イトヨ保護啓発ポスター



アメリカザリガニの駆除

写真：本願清水イトヨの里HPより

河和田小学校

鯖江市西袋町67-8
児童数：182人(平成27年)

ふるさと学習

◇ フィールドと目標生物

鳥類とホタルを中心に河和田に生息・生育する動植物

◇ 取組概要

3～6年生が、クラブや総合的な学習の時間、理科、社会の学習として、河和田の自然に親しみ学ぶ活動を展開している。

◇ 取組内容

「ふるさと学習」として、学年それぞれにテーマを持ち、田んぼづくりやドングリによる森づくり、野鳥の観察、ホタル学習会などを実施している。活動にあたっては、「河和田の自然に楽しむ会」、「かわだ自然と文化の会」などの地域の団体と連携し、河和田の豊かな自然の象徴とされている鳥類の観察や、ホタルの生息地の保全に取り組んでいる。



野鳥観察



ドングリ拾い

宮崎小学校

越前町江波122-1
児童数：195人(平成27年)

宮小自然公園の生きもの探検

◇ フィールドと目標生物

学校敷地内にある自然公園の湿地に生息するイモリなどの希少な水辺の生きものたち

◇ 取組概要

各学年ごとに、学校敷地内にある自然公園(66,000㎡)において四季それぞれの生きもの探しなどを実施している。

◇ 取組内容

自然公園内の草木を使った遊び、「朴葉飯作り」などをおし、里山のめぐみを知り、池や湿地に生息する鳥や生きもの観察をし、四季折々に地域の自然に親しんでいる。また、地元の方々と一緒に、自然公園内の湿地整備に取り組み、希少な水辺の生きものを含む、多様な生きもの育む場所としての再生を進めている。



里山観察会



地域の方、保護者による湿地の整備

白山小学校

越前市都辺町24-2
児童数:74人(平成27年)

コウノトリの飛来する自然に親しむ

◇ フィールドと目標生物

コウノトリが飛来する水田や学校田に生息する水辺の生きもの

◇ 取組概要

コウノトリを呼び戻すことを目標に、生きものを育む田んぼの作業や、そこに生息する生きものの観察・調査に取り組んでいる。

◇ 取組内容

継続的に生きもの調査や農作業体験、外来種駆除などを実施している。活動にあたっては、「コウノトリ呼び戻す農法部会」などの地域の団体と連携して、学校田において田植えから稲刈りまでをおこない、その学校田に生息する生きものを調査することで、コウノトリや白山地区に生息する身近な生きものについての理解を深めている。



水路の生きもの調査



学校田周辺での生きもの調査

坂口小学校

越前市湯谷町24-25
児童数:24人(平成27年)

ふるさと坂口の美しい風景を守ろう

◇ フィールドと目標生物

田んぼやビオトープに生息するカワゲラ、カワムツ、ハッチョウトンボなどの水辺の生きもの

◇ 取組概要

コウノトリが舞い降りることを目標に、エコビレッジ交流センター・地元の方々と一緒に生きもの育む田んぼの作業に取り組んでいる。

◇ 取組内容

田んぼの作業を地元の方々に学びながら、作業体験をするとともに、その時に観察できる生きものを記録。坂口地区内の環境の違う田んぼ(3カ所)について、調査区画を設定し、田んぼの生きものを調査している。また、生きもの育む田んぼでのお米づくりは、しめなわづくりや餅つきなど、地域の伝統文化と合わせた学習として展開している。



ビオトープの整備作業



ビオトープの生きもの調査

咸新小学校

敦賀市井川 17-20
児童数：95人（平成27年）

ふるさとを知り自然に親しもう

◇ フィールドと目標生物

中池見生き物学校田に生息する希少な水辺の生きものたち

◇ 取組概要

ラムサール条約登録・中池見湿地を地域の宝として、地元NPO団体の協力を得ながら田んぼ体験を中心に生きものを育てている。

◇ 取組内容

5年生が、総合的な学習の時間に、中池見湿地内にある「中池見生き物学校田」において生きもの育む田んぼづくりや、アメリカザリガニ、セイタカアワダチソウの駆除をおこない中池見湿地の保全活動に取り組んでいる。中池見湿地での保全活動の様子や、保全活動を通して感じたことや考えたことについては、壁新聞などにまとめ、地域の方へ情報発信している。



セイタカアワダチソウ駆除



中池見生き物学校田での稲刈り

美浜中央小学校

美浜町河原市8-2
児童数：146人（平成27年）

身近な生きものを見つけよう

◇ フィールドと目標生物

耳川と学校周辺に生息するサケや野鳥などの里山の生きもの

◇ 取組概要

耳川下流域や河口に生息する魚類をはじめとした水辺の生きもの調査や、耳川を遡上するサケの観察に取り組んでいる。

◇ 取組内容

夏には、耳川に生息する魚類をはじめとした水辺の生きものを捕獲し、種類や個体数の調査を実施している。秋には、産卵のために耳川を遡上するサケを観察記録している。冬には、学校周辺に飛来する鳥類の種類を調べ、校区内の河川と里地に生息する生きものへの関心を深めている。



耳川での水辺の生きもの捕獲



水辺の生きもの観察

国富小学校

小浜市次吉27-15
児童数:78人(平成27年)

コウノトリが舞うふるさと「くにとみ」を目指して

◇ フィールドと目標生物

熊野ビオトープや国富地区内の田んぼに生息する生きものたち

◇ 取組概要

コウノトリの国内最後の繁殖地として、コウノトリが再び舞い降りる地域づくりに地元団体と協働して取り組んでいる。

◇ 取組内容

5年生を中心に、地元の方々と一緒にコウノトリの餌場となるビオトープをつくり、そのモニタリングを実施している。また、校区内の田んぼや水路において定期的に生きもの調査を実施し、コウノトリの餌場としての観察を続けている。調査の際は、福井県立大学の先生からのお話を聞き、生きものつながりや生きもの育む環境についての理解を深めている。



田んぼと水路の生きもの調査



ビオトープの生きもの調査

本郷小学校

おい町本郷80-7
児童数:220人(平成27年)

本郷小学校区の生きものマップをつくらう

◇ フィールドと目標生物

佐分利川に生息する水辺の生きものたち

◇ 取組概要

高学年が総合的な学習の時間に、学校の前を流れる佐分利川で、水辺の生きもの調査を実施し、生きもの生息空間としての河川への理解を深めている。

◇ 取組内容

佐分利川の上流、下流の生きもの比較調査や、サケの遡上観察などを通し、河川生態系への理解を深めつつ、校区内の生きもの調査を実施している。生きもの調査の結果は、生きものマップとしてまとめながら、生きものがすみやすい環境について話し合い、校区内の生きもの保全について皆で一緒に考えている。



佐分利川での生きもの調査



捕まえたカニ

残そう・伝えよう!身近な生きもの調査

発行28年3月

福井県里山里海湖研究所

〒919-1331 福井県三方上中郡若狭町鳥浜122-31-1

電話:0770-45-3580(受付:8時30分~17時15分[年末年始を除く])